

新型コロナウイルス時代のルワンダ

(小峯茂嗣 ARC 事務局長)

●コロナとルワンダ

2020年に入ってから世界では新型コロナウイルスが猛威をふるっています。ルワンダも早くから国際空港では検疫が強化されました。空港の入国審査場の手前は、でマスクをして白衣を着た検査官がルワンダに到着した人々を検査します。私がルワンダでのプロジェクト状況視察のためにキガリ国際空港に到着した時(2020年2月)、まず体温を計測できるモニターの前を通りました。そして検査官が一人ひとりに質問をします。「最近せきはしていないか」、「ルワンダに来る前に中国を訪れたか」などを質問さ

れました。この時点ではルワンダに感染者はいませんでした、水際対策として早くから準備をしていました。

●ルワンダの人々の感染対策

国内でも、感染防止のための行動が広がっていました。市内の飲食店やスーパーの入り口には簡易の手洗い場が設置されました。またルワンダ人はあいさつするときに握手をするのですが、それを慎もうという動きもありました。



キガリにあるスーパーの入り口



入る前に手を洗う場所が設置された



新聞でも握手はひかえるように呼びかけが

しかしながら3月中旬には初めての感染者が見つかり、その後も徐々に感染者が増えていることが明らかになったため、通勤通学は停止となり、食料品、医薬品、日用品の購入以外の不要不急の外出が厳しく制限される、いわゆる「ロックダウン」となりました。夜間外出も制限され、外を出歩いていると警察官に厳しくとがめられたそうです。農村部でもほぼ同じ状況で、ただ屋外での農作業などは外出して行えました。

ルワンダ政府保健省は、感染者数、回復者数、死者数、検査を行った人数の情報を、毎日発信しています。

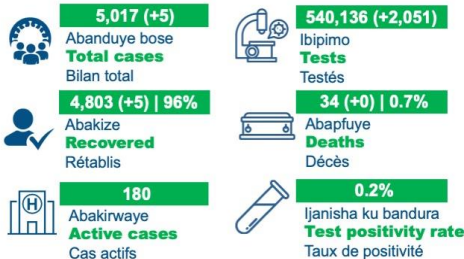
●現地パートナーたちは

ARCの「国民和解のためのマイクロセービング事業」の現地パートナーである「ルワンダ女性クリスチャン協会 (ARTCF)」のスタッフもオフィスに通勤できなくなりました(ロックダウンは徐々に緩和され、現在はオフィスでの仕事も再開しました)。また「ルワンダ子ども支援基金」のパートナーである Nature Nursery School も登校が停止となりました。先生たちもその間は仕事ができなかったそうです。



学校の校庭にも政府の命令で手洗い場が設置された

AMAKURU MASHYA | UPDATES | MISE À JOUR COVID-19 CORONAVIRUS 22.10.2020



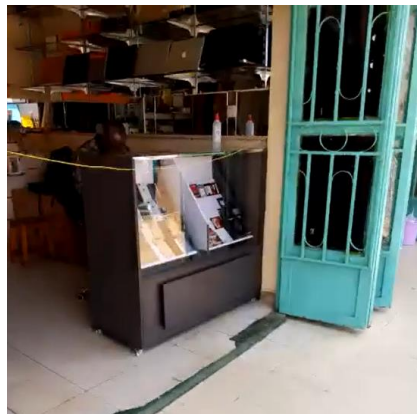
ほかにも大変だったのは臨時雇いやパートタイムで生活する人々たちで、ホテルでバイトをしていた私の知り合いのルワンダ人青

年は、ホテル休業にともない仕事がなく困っていると言っており、土木作業員のバイトなどでしのいでいるとのことでした。収入が減った世帯のための食糧配給も政府によって行われましたが、

この青年によれば、「たくさんもらえる家庭もあればそうでないところもあって不公平だな」とのことでした。混乱ぶりが感じられます。



食堂の手洗い場



商店での商品の受け取りはロープの手前で



買い物の際も距離をとって順番待ちをする

コロナ禍にあるルワンダママたちを応援するプロジェクト



このような状況下、「ステイ・ホーム」中のルワンダのママたちが在宅ワークをできるように応援するプロジェクトを期間限定でおこなうこととしました！

このプロジェクトではルワンダのママたちによる手作りの「バナナリーフ・カード」を、ご賛同いただいた皆様にお送りいたします。そして皆様のサポートをもとに、ルワンダでの在宅のママたちにさらなる制作を発注することで、「仕事」の機会を提供していこうと思います！

ARC は、ルワンダのジェノサイドで家族を失った女性たちを対象に手工芸品づくりの技術を学ぶ学校を運営してきました。彼女たちの手作りの「バナナリーフ・カード」はバナナ樹皮を切り絵にしたグリーティングカードです。現在はこのカードを日本で紹介することで、学校の卒業生の収入向上に取り組んでいます。



ルワンダのママたちの
在宅ワークを応援プロジェクトでは
応援して下さったみなさまに
ママたちの手作りのバナナリーフ・カード4枚
(封筒付)セットを
1セット1000円でお送りいたします

アフリカ平和再建委員会

Africa Reconciliation Committee: ARC-JAPAN

〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-6-1 四谷サンハイツ 511 号室 Tel./FAX: 03-3351-0892

ホームページ <http://www.arc-japan.org>

